



農業用廃プラは適正に分別・梱包しましょう



×悪い分別・梱包事例



袋として使用しない



バラバラで出さない



○適正な荷姿



袋を平坦にしつぶし、ヒモで結束してバラけないようにする



ポリ袋に入れるか、またはヒモで結束してバラけないようにする



ヒモでしばりバラけないようにする



適正に分別・梱包すれば処理もしやすく、環境にもやさしいよ!

絶対^①に適当に捨てない

少しだけだから、期限が切れているからなどというて、家庭用ごみと一緒に出したり、空き地にまいたり、野焼きしたり、ましてや水路や下水などに流すことのないようにしてください。必ず処理はJAの回収や産廃業者に委託してください。

使い終わった農業容器は3回洗ってよく乾かし、ふたと容器を分けて廃プラスチック回収に出してください。洗った水は何も作付されていない畑の土の部分にまき、下水などには流さないようにします。洗っていない空容器や農薬が残ったままの容器は、現場作業員の事故につながる恐れがあるので、絶対に出さないでください。

回収に準備が必要です

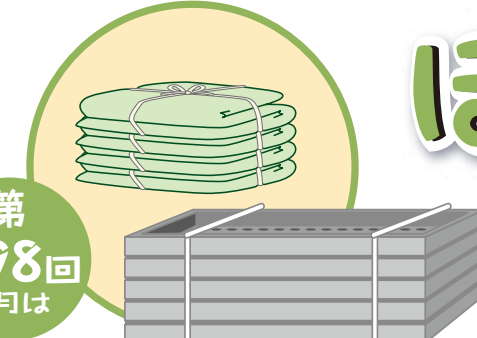
まず排出者から「何という農薬がどのくらいある」という報告をもらう必要があります。農薬にはさまざまな成分が含まれており、種類によって処理をする施設(焼却、ばい焼)が違いため、処理料金も異なります。申込書を提出いただくことで、お持ちの農薬の種類を特定し見積もりを出しています。

農業の容器を入れ替えたりラベルを剥いでしまうと農薬名がわからないものは処理料が高くなってしまいます。農薬の保管は普段から適切に行いましょう。

廃農薬回収

ほうさくClub!

第198回
今月は



「農業資材の後片付け」 ～きちんと分別～



12月、農作業は一休みの季節になりました。最近の農業はさまざまな資材を使いますね。そのうちゴミとして捨てることとなりますが、どのように処理すればよいのでしょうか。JAが行っている廃プラスチック回収と廃農業回収をみてみましょう。

分別がとても大事です

マルチフィルム、農ポリフィルム、酢酸ビニール、PO系フィルム、黒畔シート、反射シート、育苗ポット・肥料袋	セメント工場で燃料として使われ、残渣(ざんざ)もセメントの原料として使われます
きのご栽培ビン、育苗トレー、コンテナ類	中間処理施設で破碎した後、燃料とセメントの原料に使われます
塩化ビニール(農ビ・塩ビフィルム、その他フィルム、塩ビパイプ)	焼却すると有害なダイオキシンが発生する恐れがあるため、破碎して減容してから埋め立てられます

ポリエチレン類はリサイクルされます

分別できていないとリサイクルできなくなってしまう。さらに、硬い異物の混入によるポリエチレンの破碎機の故障や損害賠償問題が起きることが考えられます。実際、今年度排出されたポリエチレン類の中に異物が混じっており、セメント工場の機械を壊したため、廃プラスチックの受け入れを拒否されてしまったJAがあります。受け入れを拒否されるとリサイクルできないばかりか処理料も上がり、回収事業がままならなくなってしまう。

写真は実際に混入した異物です。ハサミや工具、洗濯バサミ、針金、ビニールハウス部品、コンバイン袋の二部などが混じっていました。肥料袋を二時的に物入れとして使用し、忘れてそのまま出してしまう例が多く発生しています。排出者のモラルが問われます。「このくらいいいか」はありません。きちんと分別しましょう。

しっかりと分別しよう!

分別されず出されたゴミの一例